

トヨタは、「トータルクリーン」をめざしています。

「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携させ、クリーンなクルマづくりをめざします。さまざまな環境目標を、バランスを取りながら達成し、総合的に環境性能の向上を図ります。

*1.Eco-VAS[エコパス]:Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。



プリウスのDNAを受け継いだ、トップレベルの環境性能。

「低燃費」「低排出ガス」の基準を高レベルで達成。

プリウスαは、「2020年度燃費基準+40%達成車*2」および「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得しています。

全ライフサイクルでのCO₂排出量を低減。

プリウスαは、素材製造、車両製造、走行、メンテナンス、廃棄・リサイクルの各段階で排出するCO₂を、当社2.0Lガソリン車に比べて大幅に低減。なかでも、全体の約55%~80%*3を占める走行時のCO₂排出量は、ハイブリッドシステムの採用により、約-34%を達成しています。

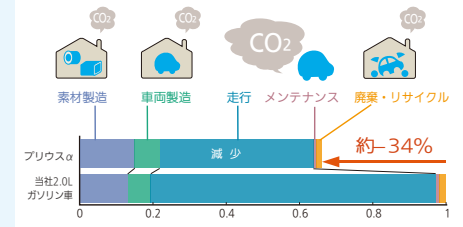
VOC*4の低減を推進。

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」*5を下回るレベルとし、業界自主目標を達成。車室内空気質の快適性に配慮しています。

*2.省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。 *3.トヨタの取り組み範囲において、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法(LCA『ライフサイクルアセスメント』:Life Cycle Assessment)で評価しました。自動車の生涯走行距離10万km(10年)をJC08モードで走行した場合の結果です。LCA評価結果は指数で示しています。 *4.VOC:Volatile Organic Compounds *5.厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。



【プリウスαのLCA評価(CO₂の例)】



トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフ ラインランドによるISO 14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

トヨタ プリウスα 環境仕様

車両仕様	車両型式		DAA-ZVW40W	DAA-ZVW41W
	エンジン	型式	2ZR-FXE	
駆動装置	総排気量	L	1,797	
	燃料		無鉛レギュラーガソリン	
燃料消費率	駆動方式		前輪駆動	
	変速機		電気式無段変速機	
排出ガス	燃料消費率	JC08モード *1(国土交通省審査値)	26.2	
	CO ₂ 排出量	g/km	89	
	参考		「2020年度燃費基準 *2」を、クリアしています。	
	主要燃費改善対策		ハイブリッドシステム、アイドリングストップ装置、電気式無段変速機、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング	
環境情報	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)		SU-LEV *3*4	
	認定レベル値または適合規制値(g/km)	CO	1.15	
		NMHC *5	0.013	
		NOx	0.013	
環境負荷物質削減	車外騒音(加速/定常/近接)	dB	74/70/80	
	冷媒の種類(GWP値*6)/使用量	g	HFC-134a(1,430*7)/470	
	鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*8)	
	水銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*9)	
車室内VOC	カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
	六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
	リサイクル	リサイクルし易い材料を使用した部品 TSOP *10	インストルメントパネル、バンパーカバー、モールディングロックアップパネル	
	関係	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり	
環境負荷物質削減	リサイクル材の使用	再生フェルト	ダッシュインナサイレンサー、デッキサイドトリム	

*1.燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

*2.省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。

*3.JC08モード走行

*4.平成17年基準排出ガス75%低減レベル

*5.NMHC:Non Methane Hydrocarbons(非メタン炭化水素)

*6.GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)

*7.フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。

*8.1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。

*9.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。

*10.TSOP:Toyota Super Olefin Polymer

*11.厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。